土岐市公の施設における指定管理者選定委員会　議事録

日時　：　令和8年10月14日（水）　11時05分～12時00分

場所　：　土岐市役所　3階　大会議室3A

施設　：　【土岐市産業文化振興センター・セラトピア土岐】

委員　：　太田幸治、松岡剛生、西尾隆吏、鷲見直人、奥田勝利、籠橋昭範（敬称略）

区　分	発言者	内　　容
再開	事務局	（※同日にどんぶり会館の指定管理者選定委員会を行っており、その続き） それではこれより、土岐市公の施設における指定管理者選定委員会を再開する。
委員長選出	事務局	委員長ついては引き続き太田委員にお願いしたいがどうか。
	委員	「異議なし」
	事務局	それでは、委員長は太田委員に決定し、以降の進行をお願いする。議事に入る前に事務局から説明を行う。
指定管理者制度及び施設の概要の説明	事務局	指定管理者制度及び施設の概要について説明。
土岐市産業文化振興センター・セラトピア土岐に関する議事		
議　　事		
1．申請書類について意見交換	委員長	申請者の申請書類を見ていただき、内容について意見をいただきたい。
	委員	直近である第35期については約300万円ほどの赤字であるが、1億5千万円くらいが現預金となっており、そういう面では安全性は高いと言える。 書類の中にある指定管理料については、条例で決まっている金額を支給しているという認識でよろしいか。
	事務局	毎年、予算計上している。
	委員長	ただいまの意見を参考にして、これから行うプレゼンテーションの後、採点をお願いしたい。
2．プレゼンテーションの進め方について	事務局	プレゼンテーションを15分行い、その後10分程度の質疑時間を設ける。 採点方法については、プレゼンテーション及び終了後の意見交換後、審査表に評価を記入いただく。申請者が1者のため、合計点が満点の6割である360点を超えた場合、採用とする。

区　分	発言者	内　　容
3. 申請者によるプレゼンテーション		
質疑	委員	施設の使用料収入アップを目指すにあたり、具体的なターゲットなどの企画はあるか。
	事業者	陶磁器などの展示会が本来メインではあるが、新規が急に増えるわけではない。その他の部分でスポーツ競技会を考えており、テニスやレクリエーションスポーツなどの体験会を通じて継続的に使ってもらえるようになれば使用料が増える。また、大会になれば審判や監督などの控室などの利用料も考えることができる。子どもの大会であれば親が付いてくるというところも考えると、今使われていない部屋なども提供できると考えている。 もう1点は、会館の目的として地場産業の発展のために稼働させる部分がある。毎年、新春の見本市がセラトピア土岐で開催されている。海外の参加も増えており、30か国にもなった。大きな展示会や見本市として岐阜県の方も認めてくれており、支援してくれる方向性を示してくれている。
	委員	指定管理者としてこれまで培ってきたノウハウについて具体的に示してほしい。
	事業者	人件費が赤字になってしまうことで指定管理者が続かないということがあるが、地元の企業として、市内在住者のパート採用や事業運用などにより、経費を抑えつつ、地域に貢献するというところが培ってきたものと考える。
	委員	維持管理費のところで、物価上昇率などを考えると支出の部分が増加すると見込まれる。そうなると、より売上の努力が必要となるので頑張っていただきたい。
	委員	色々イベントが企画されているが、パートなども提案しているのか。
	事業者	スポーツ推進委員やスポーツ協会などと協力して企画は考えている。パート職員は基本的に清掃などの業務が主であるため、そういうのには参加しない。組合員がやることはあるが、基本的には地域団体などと協力して行っている。
4. 採点	（点数記入、集計）	
5. 結果発表	委員長	合計点が426点。満点の6割の360点を超えたため、採用とする。
6. 委員長講評	委員長	陶器の組合が土岐市のスポーツの発展も含めて事業を展開しているが、非常に面白い取り組みであると考えるため、発展を期待したい。
7. 今後の予定について	事務局	今後の予定について ①本日の選定結果を市長に報告する。 ②選定結果については、土岐市ホームページにて公表する。 ③12月議会において管理者の指定の議案を上程し、議決後選定された団体と協定書を結ぶ運びとなる。 ④委員の任期については、指定管理者が管理運営を開始する日までとなっている。